

令和元年度 森林環境譲与税使途の状況

I 森林整備（間伐、路網整備等）

事業区分	事業内容	金額（千円）
①意向調査の準備作業	・森林の下調べ（「森林簿で施業履歴を確認」、 「林地台帳で所有者を確認」、「意向調査対象リスト作成」	484
①意向調査の準備作業	・所有者の再確認、相続調査、地上権・抵当権等の権利の状況調査 ・意向調査対象森林の現状や要整備箇所の把握及び調査	1,928
③私有林整備	・森林施業または人材育成のため研修に使用する多目的ヤード整備に係る補助	373
⑦その他（森林整備）	・森林施業のために利用する多目的ヤードの修繕及び整備（町による発注）	3,700

III 木材利用・普及啓発

事業区分	事業内容	金額（千円）
⑬木造公共建築物等の整備・内装木質化	・支所庁舎建設における木材の利用	11,059

IV その他

事業区分	事業内容	金額（千円）
⑳基金積立（森林整備等）	・意向調査後増大すると予想される、町自ら行う間伐等の森林整備に向けた積立	9,415

森林環境譲与税活用の効果

<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営管理対象森林の詳細な情報（所有者の現住所、相続人、抵当権等の確認）及び実際の森林の状況を調査することにより、意向調査が円滑に行えた。 ・多目的ヤードが整備されたことにより、今まで放置されていた森林の施業（主伐・植林）が実施された。 ・支所庁舎建築において、紀州材を使用することが出来、木材利用の促進が図られた。
--